

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：ピノキオ幼児舎センター南園	種別：地域型保育事業（居宅訪問型保育事業除く）	
代表者氏名：池本 環	定員（利用人数）：19名（17名）	
所在地：〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央2-1 オズ・マークスセンター南2階		
TEL：045-944-2199	ホームページ：http://www.kaminoge-sunco.com/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2015年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社三光商事		
職員数	常勤職員：5名	非常勤職員：7名
専門職員	（専門職の名称） 名	
	保育士 8名	栄養士 1名
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室 3室	多目的室
		事務室
		調理室
		幼児トイレ

③理念・基本方針

<保育理念>

- ひとりひとりにのびやか保育。

<基本方針>

- ひとりひとりに合わせた配慮。
- 思いや気持ちに寄り添う。
- 友達との関わりを大切にする。
- 子どもも保育者もいつでも笑顔でいる。
- 生命の維持・情緒の安定を図る。

④施設・事業所の特徴的な取組

●お子様の「個々人の考え方や個性を尊重」し、伸び伸びとした保育を実現するうえで、保育者の「個々人の考え方や個性を尊重」することも重要と考えています。そこで、外部の医療法人と顧問契約を結び、ハラスメント相談など、職場における人間関係に悩みが生じたときに保育者がいつでも相談できる環境を整えています。これにより、保育者が安心できる環境を作ると同時に、他人を尊重するという基本的考えを常に持つことで、お子様への保育の質も向上すると考えています。

●ピノキオ幼児舎センター南園の立地・概要

ピノキオ幼児舎センター南園は、横浜市営地下鉄ブルーライン・グリーンラインのセンター南駅から徒歩約2分、駅から至近距離にあり、利便性が非常に良い場所に位置しています。園が所在するセンター南エリアは、横浜市の調停で構成されたニュータウンであり、都市計画が成された上に緑も多く、周辺には広大な敷地の公園が多く点在し、豊かな自然と整備された市街地を誇る地域です。センター南駅は港北ニュータウン第2地区のほぼ中央に位置し、シンボル広場・駅前広場を接続する回遊性を施した街作りがなされ、車道と歩道が分離され、車利便と歩行者の安心・安全を両立させ、人々が快適に暮らせる街作りが成されています。また、公共施設の図書館、都筑区役所、警察、消防署等の中枢機関もあり、港北ニュータウンの中心地となる地域です。

●ピノキオ幼児舎センター南園は、株式会社三光商事（以下、法人という）の経営です。法人は東京都世田谷区に本社を構え、ビルを都市基盤整備公団と区分所有しながらテナントに対してビルの賃貸業を事業として展開しています。平成14年9月、(株)ピノコーポレーションとフランチャイズ契約を締結し、保育事業に本格的に参入し、東京都認証保育所「ピノキオ幼児舎上野毛園」を開設し、平成17年7月には東京都認証保育所として稲城市で初めて小規模認可園の設置となる「ピノキオ幼児舎稲城園」を稲城市東長沼に開設しました。また、稲城園に併設して病後児保育室「コロボックル」を運営しています。平成27年4月には横浜市都筑区に、この小規模認可園「ピノキオ幼児舎センター南園」を定員は0歳児6名、1歳児6名、2歳児7名の計19名で開設し、乳児保育を実施しています。園舎は、地上11階建の商業ビルの2階に位置し、1階は飲食店、美容室、3階以上は居住マンションになっており、マンションの住人や商業店舗の相互理解によりのびのびとした保育を展開しています。保育室の窓は南向きなので明るく、陽当たりも良く、ロールカーテンで採光を調節するなど子どもたちが快適に心地よく過ごせるよう配慮しています。特別保育では、産休明け保育、延長保育を実施しており、保護者・地域に対する子育て支援として、育児相談を行い、家庭への支援、家庭の育児力・地域の育児力を育む環境作りに取り組んでいます。

●ピノキオ幼児舎センター南園の保育の方針

ピノキオ幼児舎センター南園は、平成27年に設立された3年目の新しい保育園ですが、大手保育所グループ「ピノキオ幼児舎」のフランチャイズ園として、ノウハウを取り入れながら保育を実践しています。保育の方針は「ピノキオ幼児舎」の保育理念をサービスの根幹とし、『愛情をもって愛情を育てる。創造力をもって創造力を育成する。』をモットーに基本方針を策定しています。「ピノキオ幼児舎5つのお約束」では、1. ピノキオのテーマは『のびやか保育』です。2. ピノキオは、保育はクリエイティブだと考えています。3. ピノキオは、お子さまひとりひとりを見つめ、大切にします。4. ピノキオは、お母さんお父さんとともに進みます。5. ピノキオは

「学び」を育てます。を掲げ、従来の保育と教育の垣根にとらわれず、ひとりひとりの子どもを愛情をもって見つめ、適切なケアをすることにより、意欲と思いやりを持ち、好奇心に溢れる元気な子どもを数多く育てることを願い、愛情をもって愛情を育て、創造力をもって創造力を育てることをコンセプトとして日々、保育を実践しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2019年 12月 11日（契約日） ～ 2020年 6月 11日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 【保育の基盤】

●ピノキオ幼児舎センター南園の運営母体である法人は、首都圏を中心に31か所の保育園・保育所・保育室を展開している㈱ピノコーポレーションとフランチャイズ契約を締結し、施設運営面におけるサポート・アドバイスを受けながら保育を実施しています。フランチャイズ本部「ピノキオ幼児舎」の保育理念・保育方針を共有し、運営書類等の作成に至るまで、ピノキオ幼児舎のノウハウを取り入れると共に、保育園運営に関するスーパーバイズを受けながら、地域のニーズ・特性を加味してピノキオ幼児舎センター南園として運営を実施しています。保育計画については、ピノキオ幼児舎の計画をベースに園の独自性を盛り込み、0歳、1歳、2歳児それぞれのねらいを持って計画を策定し、計画に沿って保育プログラムを組み、保育に当たっています。

2. 【子どもとの愛着関係を大切にした環境づくり】

●保育室は図面上、0歳、1歳、2歳児それぞれの保育室のスペースを確保していますが、現在は0歳児の保育室の場所を食事ルームとして利用し、1歳児と2歳児の保育スペースに低いサークル等を活用しながら区切り、大枠を設けながら0歳～2歳児と一緒に過ごす環境作りをしています。保育士は、愛着関係を築くよう一人ひとりじっくり関わり、子どもの不安を受け止め、第2のおうちとして安心して過ごせるよう丁寧に信頼関係を築いています。保育スペースでは、絵本の読み聞かせをする保育士の下に子どもが集まり、絵本に集中して保育士の話に耳を傾ける子ども、傍でおもちゃを持ちながら絵本を見ている子ども等、自然と子どもたちが集まります。年齢（月齢）に合った遊びを提供しながら保育士も一緒に遊び、遊び方や遊ぶ楽しさを学び、子どもたちの関わりが子どもの成長を促し、心も体も大きく成長できるよう環境整備に努めています。

◇改善を求められる点

1. 【園独自の保育体制の確立を】

●ピノコーポレーションのノウハウや指導については、組織としてある定型化がされており、保育の1つの進め方を示したもので、参考になるものと思いますが、個々の保育は地域、子ども、それぞれを支える保育士によって異なります。体系としては確立しているとしても1つ1つの個々の問題は、その園の問題です。次のステップに進むため、ピノコーポレーションのノウハウを踏み台とした、ピノキオ幼児舎センター南園独自の保育を「標準」にするよう進めてほしいと思います。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： ピノキオ幼児舎センター南園

施設長： 池本 環

<評価に取り組んだ感想>

- ・ 職員が保育の質の向上について、より考えるきっかけとなった。
- ・ 保育園が自らの達成状況を確認、把握することが出来、改善すべき点が明確になった。
- ・ 保護者の意見・考えを知ることが出来て良かった。

<評価後取り組んだ事として>

1. 第三者評価の結果を職員と話し合い、アンケートの中で保護者から頂いた意見をより良い方向で展開、実現出来るように進めていく。
2. 園内・外での研修、学びを深めていく中で各自がより良い方法や気づきを積極的に発信したり、皆で意見交換をすることにより、園全体の保育の質の向上を目指していく。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり